

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座 I Care Staff Beginner's Training I			ナンバリング No.	I3-009		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊 信成						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>「介護職員初任者研修講座 I」では、「職務の理解」「介護における尊厳の保持・支援」「介護の基本」について学習する。在宅におけるケアなどの実践についての知識を習得し、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、サービス提供の基本的視点を理解する。さらに介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることについて学習する。</p> <p>①在宅ケア等における実践について具体的なイメージを実感でき、説明できるようにする。                  ②介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解し、説明することができるようにする。                  ③介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解し説明することようにする。                  ④介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉え、それらを説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。レポート課題を実施し、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	①介護の目標や展開について、自立支援の考え方を取り入れて概説することができる。 ②介護の専門性及び基本的なサービスの特性について列挙し、説明できる。					
	L03	生活支援の場における典型的な事故や感染などの主要なリスクを列挙し、説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	介護職員初任者研修テキスト 第1巻『介護のしごとの基礎』第3版 中央法規出版 その他、適宜資料を配布。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。介護職員初任者研修ユニット履修者のみ履修可。介護職員初任者研修講座 I だけの履修は認められない。介護職員初任者研修講座 II、III、IV、V、VI、VII も必ず履修すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					

試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					
合計				40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など) 職務の理解① 介護保険サービス、介護保険外サービス
	事前・事後学習	介護保険の概要についてテキストを参照にしてノートにまとめること。 テキストp.2～7
2	授業内容	職務の理解② 介護職の仕事内容や現場の理解
	事前・事後学習	介護職の仕事内容について調べておくこと。テキストp.8～40
3	授業内容	職務の理解③ 居宅、施設のサービス提供について
	事前・事後学習	居宅、施設のサービス提供の内容についてテキストを参照にしてノートにまとめること。 p.8～40
4	授業内容	職務の理解④ チームアプローチ、他職種との連携
	事前・事後学習	チームアプローチの意義についてノートにまとめておくこと。p.8～40
5	授業内容	介護における尊厳の保持・自立支援① 尊厳とは、アドボカシーについて
	事前・事後学習	アドボカシーの用語の意味について調べておくこと。p.44～51 配布資料を参照すること。
6	授業内容	介護における尊厳の保持・自立支援② ICFの視点について、QOLとは何か レポート 「ICFの視点に沿った支援とは」※提出は第7回目の授業日
	事前・事後学習	ICIDHとICFの違いについてまとめておくこと。レポートを記述して提出。p.44～57
7	授業内容	介護における尊厳の保持・自立支援③ ノーマライゼーションとは何か
	事前・事後学習	ノーマライゼーションについて各研究者の概要についてまとめておくこと。p.58～59
8	授業内容	介護における尊厳の保持・自立支援④ 虐待防止・身体拘束禁止について、高齢者虐待防止法
	事前・事後学習	高齢者虐待防止法についてテキストを参照にしてまとめておくこと。p.59～60
9	授業内容	介護における尊厳の保持・自立支援⑤ 個人の権利を守る制度の概要「縛られない老後について」DVD視聴。
	事前・事後学習	身体拘束禁止についてノートにまとめること。DVDの感想レポートをまとめること。 テキストp.59～60 配布資料を参照すること。
10	授業内容	介護における尊厳の保持・自立支援⑥ 自立に向けた介護・介護予防
	事前・事後学習	自立についてテキストを参照にして調べておくこと。テキストp.68～75
11	授業内容	介護の基本① 介護職の役割、専門性、他職種の理解・連携
	事前・事後学習	介護職の役割、専門性、他職種の理解・連携についてノートにまとめること。 テキストp.84～101
12	授業内容	介護の基本② 介護職の職業倫理
	事前・事後学習	職業倫理についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.102～105
13	授業内容	介護の基本③ 介護職における安全の確保とリスクマネジメント
	事前・事後学習	ヒヤリハットの意味についてテキストを参照にしてノートにまとめること。 テキストp.106～117
14	授業内容	介護の基本④ 介護職の安全について
	事前・事後学習	介護職の安全についてノートにまとめること。テキストp.118～129
15	授業内容	福祉における人権とアドボカシー 授業のまとめ
	事前・事後学習	人権とアドボカシーについてノートにまとめること。テスト対策を行うこと。 配布資料を参照すること。